

「まめバス」2ルート新設へ… 1～2面  
所得税と市・県民税の申告は3月15日までに… 3面  
ごみの出し方と減量… 4～7面  
15万人のひろば… 8～9面  
おしらせ・3月の相談日… 12～13面  
3月の休日当番医… 16面

## 皆さんの意見を反映させ

# 「まめバス」2ルート新設へ

～関宿総合公園や七光台駅・野田市駅への利用も～

「新市建設計画」に基づき、新市の一体感をつくる事業として、平成16年1月から走り出した「まめバス」は、多くの市民の皆さんに利用していただき、今年1月には、利用者が延べ80万人に達しました。しかし、一方で、まめバスの通っていない地域の方々から、ルートの延伸要望が多数寄せられていたことから、市では、これまでの運行条件を見直し、2つのルートの新設や既存ルートを一変変更する運行計画の変更案を決定しました。

しかし、一方で、まめバスが通っていない地域の皆さんからは、延伸要望が多数寄せられていますが、これまでの運行経費の条件では、要望にお応えすることは困難でした。

### 皆さんの意見をもとに 新ルートを検討

「新市建設計画」に基づき、新市の一体感をつくる事業として、平成16年1月から運行を始めた「まめバス」は、予想を上回る利用状況から、17年4月には関宿城ルートの新設や増便などを行い、今年の1月20日には運行開始からの利用者が、延べ80万人に達しました。

まめバスは、合併協議時点での、合併による行政改革効果のうち、新たに生み出される財源の中から、年間5千万円を限度に、運行経費を市が負担し運行を開始したものです。

### 運行計画変更案

変更案は、バス車両2台を増車し、(仮称)新北ルート、(仮称)新南ルートの一部を変更するものです。

## 3月12日 清水公園駅東口開設

2月1日号の市報でお知らせした、清水公園駅の東西連絡地下通路と地下駅舎は、工事が順調に進んだことから、予定を繰り上げて、3月12日(日)に開設します。

工事中は、大変ご不便をおかけしましたが、完成により駅東

側地域から、直接駅が利用できるようになり、また、駅の東西地



域間の行き来も可能となります。

【問合せ】区画整理課

しかし、その後、合併時点で策定した新市建設計画での行政改革効果は、試算を上回る18億4千万円となったことから、増加した行政改革の効果に応じて、6千800万円を運行経費の限度額とする案を作成し、昨年11月23日に開催したコミュニティバス検討委員会の賛同を得て、決定しました。

さらに、市民の皆さんのご意見

◆(仮称)新北ルート  
増車する車両1台を使用し、関宿中央ターミナルから、いちいのホールを経由して、県道我孫子関宿線を通り、木間ヶ瀬小学校、木間ヶ瀬小学校、関宿南部公民館、岡田地区を経て関宿総合体育館、さらに県道結城野田線から江戸川左岸連絡道路を通り、東金野井地

(2面につづく)

